



国労せんだい

No. 2704
2015年6月25日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

厳しい労働環境の改善を

エルダー職場 課題は交渉窓口

地方本部は5月24日、仙台市内において、「エルダー・嘱託社員交流会」を開催した。

この取り組みは、08年から実施された「エルダー社員制度」において、労働条件や配属などについて多くの問題が発生していることから、各職場で働いている組合員と意見交換を行い、問題点の集約とその解消を図るため開催しているもの。

集会には総勢26人（エルダー組合員16人）が参加し、原子書記長の司会で開会。大沼委員長のあいさつ後、東日本本部伊藤執行委員が労働条件改善に向けてこの間、東日本本部が取り組んできた内容を今後のスケジュールを報告（春闘から夏季闘争、労働条件改善（協約改訂）、組織強化・拡大、住環境制度の改正に伴う説明）。

さらに安全問題では、「山手線の電化柱倒壊と架線断線事故について、じっくり精査をし申し入れを行う準備を職能別協議会として進める」とし、また組織強化・拡大では、「仙台の2人、高崎・千葉から各1人ずつ、大会から12人の拡大があった。これまでJR本

体からであった拡大が、今はG会社を中心になる」

等々の報告を行った。続いて仙台地本千葉組織部長が、G会社の説明と再編問題等について説明した。引き続き行われた職場実態交流では、厳しいエルダー職場環境と改善の取組みの強化を促す意見が出された。

東北総合サービス

早急に窓口作りを

TSS出向。概要、全体で68箇所、駅業務60箇所。総勢393人（4月1日現在）。

東日本G会社東北地区再編が7月1日実施と会社情報で知る。労働条件に関わるが組合に提案・交渉がな

く問題。姿勢を糾すべき。東北三地本の課題では、諸問題点について、個々話をしているが、提案がな

い状況では組織全体で議論できない。集まる場と窓口作りが急務。

36協定締結箇所はどこなのか早急に明らかに。事故対応では休憩変更ではなく、そのまま労働時間で食事も摂らず連続労働。超勤処理というが、エルダー社員は時給800円の世界、ゆっ

くり飯を食って横になりた

いが本音、トラブルも多発。早急に改善を。

5月13日地震発生。非番が必死に対応、駅ブロックに応援要請しても誰も来れない状況。人身事故が発生しても、仮に自分が倒れても代務が来ない状況だ。

今年の新社員は19歳から32歳、基本給13万円台、諸経費控除で10万円、家賃5万（会社補助上限2万）、携帯代などで、一日使える金千円、千五百円。食事はスーパリーの赤札惣菜、入社してからは服を買ったことがない。休日はテレビでこる寝。ある駅の3年目社員は30歳過ぎで手取り16万。結婚したくてもできないと悩む。

テクノ新幹線営業所の環境保全職場で「ゴミ分別業務」自分が直接関わる業務ではないが、昨年12月、準社員が賃金未払い（夜勤手当）について労基所に相談。労基所が認め会社を指導。会社も改善点を労基所に提出。対象者は8人で、テクノ社員には「一時金」という形で支払い。内エルダー対象者は3人（一人は既に退職）で、総額で凡そ500万円、多い人は約170日の泊まり勤務で200万円程度。ただし支払いはH25年とH26年の2年間のみ。ある社員は会社発足以来14年間勤務してきたが、12年間分はタダ働き。この間、何度も準社員が是正を求めたが、都度つやむやにされていた。

東北工機整備

労働環境悪い

組合員2人、所内運搬業務（フォーク）。中央倉庫で部品材料の受け払い。新幹線（新潟・長野・盛岡・秋田・青森等全ての車両基地）の部品（修理品含む）を出し入れ。

出向4年。所内運搬業務の労働環境。3年前から約2年間所内で発生するゴミの運搬に携わるが、放射能が含まれた塵埃の運搬業務をしてきた。業者が搬出しな

ないため、所内に保管（処理場を通過しようとする）と警報・ブザーが鳴動）。

組合員2人、所内運搬業務（フォーク）。中央倉庫で部品材料の受け払い。新幹線（新潟・長野・盛岡・秋田・青森等全ての車両基地）の部品（修理品含む）を出し入れ。

出向4年。所内運搬業務の労働環境。3年前から約2年間所内で発生するゴミの運搬に携わるが、放射能が含まれた塵埃の運搬業務をしてきた。業者が搬出しな

この事象以降、会社は深夜帯の機械運転を止めた（夜勤手当を支払わないように）。通常の夜勤で深夜帯の業務は一部を除きなくなった。

JR本体からの出向者は手当なし。手当支給の条文中に「JR東日本及びエルダー出向者は除く」とある。ただ自分の職場は項目に該当せず、一日200円の手当支給の対象だが、支払われていない。回答を求めているが明解な返答はまだない。

テクノ、TSSなど出向者の集まり、会を立ち上げないと大変。後輩には休日も少ないテクノにきてもらいたくない。せめてTSS...

この事後以降、会社は深夜帯の機械運転を止めた（夜勤手当を支払わないように）。通常の夜勤で深夜帯の業務は一部を除きなくなった。

JR本体からの出向者は手当なし。手当支給の条文中に「JR東日本及びエルダー出向者は除く」とある。ただ自分の職場は項目に該当せず、一日200円の手当支給の対象だが、支払われていない。回答を求めているが明解な返答はまだない。

テクノ、TSSなど出向者の集まり、会を立ち上げないと大変。後輩には休日も少ないテクノにきてもらいたくない。せめてTSS...

テクノ福島で2年経過。すでに体重が6〜7キロ減った。なんでもありだ。

エルダー同士集まる機会がなくて困っていた。

県支部に協力してもらい、準備会をしながら「連絡会」を発足。代表を選出し年間行事を決定。支部には営業

関係エルダー15人おり内9人が7月20日の連絡会に参加。設備関係もあるが、根が細い。まず営業関係で限られた年数であり、根を太くして次代に引き継ぎたい。

若松テクノ。プロパー、パートから事務職まで階層が分かれる。おかしなことはたくさんあり我々は気がつくが、プロパーに直接提起しても受け止められない状況。問題を解決する道筋がわからない状況だと思

12年度の貧困率は12.2万。子供の貧困率は16.3%で6人に1人の割合（厚生労働省・国民生活基準調査）だが、それ以下の収入・生活実態にある。

バラ色の幻想を振りまくG会社。入社したものの、その先どうするか悩む若者達。こつした状況を話し合う場がほしい。

運動体として、運輸協議会との話し合いも必要。

この事後以降、会社は深夜帯の機械運転を止めた（夜勤手当を支払わないように）。通常の夜勤で深夜帯の業務は一部を除きなくなった。

JR本体からの出向者は手当なし。手当支給の条文中に「JR東日本及びエルダー出向者は除く」とある。ただ自分の職場は項目に該当せず、一日200円の手当支給の対象だが、支払われていない。回答を求めているが明解な返答はまだない。

テクノ、TSSなど出向者の集まり、会を立ち上げないと大変。後輩には休日も少ないテクノにきてもらいたくない。せめてTSS...

テクノ福島で2年経過。すでに体重が6〜7キロ減った。なんでもありだ。

エルダー同士集まる機会がなくて困っていた。

県支部に協力してもらい、準備会をしながら「連絡会」を発足。代表を選出し年間行事を決定。支部には営業

関係エルダー15人おり内9人が7月20日の連絡会に参加。設備関係もあるが、根が細い。まず営業関係で限られた年数であり、根を太くして次代に引き継ぎたい。

若松テクノ。プロパー、パートから事務職まで階層が分かれる。おかしなことはたくさんあり我々は気がつくが、プロパーに直接提起しても受け止められない状況。問題を解決する道筋がわからない状況だと思

- 6・3 バス東北賃金改善回答
- 6・9 春闘事務局会議
- 6・10 第2回選挙管理委員会
- 6・12 第10回地本執行委員会

- 6・13 地本アスベスト対策委員会
- 6・14 組織対策会議
- 6・19 乗務員勤務問題プロジェクト会議
- 6・20 安プロ・各支部委員長合同会議

曇って前が見えない状態。会社は「安全第一、安定第二」というが、実際は健康被害や熱中症で倒れそうな状況。冷房が効いた中で清掃ができないものかと「みんなの声」として要望を出し改善を取り組んでいる。

会社は勉強会（ノロウイルス対策）を実施。嘔吐物処理では、完全武装（防護服着用、マスク、一重手袋、殺菌剤処理...）で対処するように指導。だが人手不足に業務が次々に入っていて夜間にそのような対処は不可能。実際はゲロパック

（木屑のようなものを撒いて固めて処理する）で掃いて水を流して拭き取り処置。JRはノロウイルスがあるのがなかるうが、次にその車両を使う。建て前と本音が全く違う。旅客に感染の恐れがあり問題あり。

東北テクノロジー

職場の声を聞き出すこと
仙総支部は22人。支部・分会でエルダー担当者を置き、アンケートや要求をとりまとめ。問題解決は難しい状況だが粘り強くやる。

新幹線営業所には312人の社員・パート・アルバイト。TKK業務とテクノロジースと統合になりテクノロジーに。統合について当初一切説明なし。雇用対策室に問い合わせても埒があかず。地本を通じ、施策の大元である運車部に説明をさせた経過がある。

労組はユニオンショップ制度。形式的には要求集約や交渉を行っているようだが、職場の声を反映している実態にはない。テクノでは正社員になつて基本給が12万円、定期昇給が千円で基本給13万円になるには10年を要するのが実態。テクノ社員から見れば「仕事も満足にできない、給料の高い口うるさい爺」と想像され、目線を合わせるの大変で覚悟が必要。

テクノからテクノロジーに業務教育として出向者が45人。だが、テクノロジーでは教育計画が全くない。作業や仕組みに対する不満はあり現場では言うが上部には口に出せない。その状況で我々が「代弁する」というのは、「自惚れ」か。まずは意見を聞き声を引き出すこと、その環境作りが大事。

ロジとして高卒4人新採。仙台に2人が配属。だが、どこで働いているか友達に話せないという。我々からすれば検修職場は第2第3の職場。この若者たちは将来どうするのか。給与明細を廃止し、ウエブ化するというのが条件が整っていない。現金支取であり、現在は用紙に印鑑押印。人間ドック。我々は貨物と同様5千円だが、他の方々は個人対応で説明もない。

我が山形にはない。4人で仕事、正社員が不在のめずらしい職場。過日、業務改善、事故や不祥事がないというところで最優秀職場に。点呼は持ち回り、特段業務指示がなく、各々が自発的に業務している状況。JRと取り交わしている運賃表は15年前から変わらなして正規では赤字。

熱烈歓迎！佐藤拓美さん 設備分会が歓迎会

郡山設備分会で4月27日付で国労加入した佐藤拓美さんの歓迎会が、5月29日に郡山市内で盛大に開催されました。

佐藤さんは、郡山電力技術センターの変電科に所属し、テーブルの主任として活躍中で、仲間の信頼も厚い中堅社員です。分会主催の歓迎会には、東日本本部を始め、仙台地本と福島県支部、また若松地区からなど多くの仲間が駆けつけました。

歓迎会では、堀口分会長から歓迎の言葉が述べられ、東日本本部伊藤執



佐藤さん（右から3人目）を囲んで

行委員、仙台地本原子書記長からも歓迎と取り組みに対するお礼が述べられました。

佐藤さんからは、国労加入に至る経過が話され、また加入したからには組織の拡大に向けて自分も頑張りたいという決意が述べられ、仲間のみなさんから大きな拍手が贈られていました。

また参加者全員から歓迎の言葉が述べられましたが、しっかりと話を聞き、見つめていた佐藤さんの姿勢が印象的でした。

東北ロジステイクス
若者の将来を危惧
昨年8月東北ロジ（秋田）で国労加入。プロパー社員であるがこれを契機に何かできないかと交渉を実施。ロジは働く人間の気持ちがあわからない会社。全て貨物頼み。要求を言うと、それは貨物会社に言ってくれ。本来ロジから貨物にいうべきこと。

東北鉄道運輸
正社員不在の職場
東北に12カ所営業所があ

宮城県支部
山田書記長
我々が物を言い改善を
駅業務委託でTSSに出向中。諸問題が発生しているが、我々自身が中心になつて物を言い変えていく努力をしている。地本には交渉窓口を早急に設置するよう要請する。

東北ロジステイクス
若者の将来を危惧
昨年8月東北ロジ（秋田）で国労加入。プロパー社員であるがこれを契機に何かできないかと交渉を実施。ロジは働く人間の気持ちがあわからない会社。全て貨物頼み。要求を言うと、それは貨物会社に言ってくれ。本来ロジから貨物にいうべきこと。

東北ロジステイクス
若者の将来を危惧
昨年8月東北ロジ（秋田）で国労加入。プロパー社員であるがこれを契機に何かできないかと交渉を実施。ロジは働く人間の気持ちがあわからない会社。全て貨物頼み。要求を言うと、それは貨物会社に言ってくれ。本来ロジから貨物にいうべきこと。

東北ロジステイクス
若者の将来を危惧
昨年8月東北ロジ（秋田）で国労加入。プロパー社員であるがこれを契機に何かできないかと交渉を実施。ロジは働く人間の気持ちがあわからない会社。全て貨物頼み。要求を言うと、それは貨物会社に言ってくれ。本来ロジから貨物にいうべきこと。

東北ロジステイクス
若者の将来を危惧
昨年8月東北ロジ（秋田）で国労加入。プロパー社員であるがこれを契機に何かできないかと交渉を実施。ロジは働く人間の気持ちがあわからない会社。全て貨物頼み。要求を言うと、それは貨物会社に言ってくれ。本来ロジから貨物にいうべきこと。